

**アザラシ型ロボット・「パロ」による認知症セラピーが、
世界最大級の医療グループのフランス・公的扶助パリ病院機構から、
非薬物療法のイノベーションとして、「2015 Patient's Trophy」を受賞**

株式会社 知能システム（本社：富山県南砺市）

- ・ フランスの首都圏で医療サービスを提供する公的扶助パリ病院機構(The Assistance Publique - Hôpitaux de Paris (以下、AP-HP))に属する、Hôpital Paul-Brousse (ポール・ブルッス病院・パリ大学医学部)が、「アザラシ型ロボット・パロ (以下、パロ：現地価格 1 体約 70 万円)」を用いた認知症セラピーを国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (以下、産総研) と連携して臨床評価し、良好な結果を得たことから、抗精神病薬の投薬を低減する新たな非薬物療法のイノベーションとして、AP-HP から、「高齢者向け病院におけるより良い生活」の категорияで「2015 Patient's Trophy」賞を本年 5 月 30 日に受賞した。
- ・ AP-HP は、パリの 44 箇所の公立病院において約 15,800 人の医師を含め約 9 万人が従事し、パリ大学の 7 つの医学部等も含まれた組織で、ヨーロッパで最大、世界でも最大級の医療グループである。(Wikipedia による)
- ・ 認知症者は、世界に約 4400 万人、その医療・介護のコストは年間約 600B 米ドル (約 72 兆円) と見込まれている。パロは、認知症を根治しようとするものではないが、パロとのふれあいにより、認知症者等を良い状態にすることにより、うつ、不安、孤独、痛み等を緩和し、認知症者等の周辺症状 (徘徊や暴言・暴力等の問題行動) を抑制・緩和する。
- ・ パロは、産総研等が開発し、平成 16 年 9 月に第 8 世代、平成 25 年 9 月に第 9 世代が発表され、株式会社 知能システム【代表取締役社長 大川 丈男】(以下、ISC) が、知的財産権のライセンスを受けた。国内 80 社以上の協力を得て、富山県南砺市でパロを手造りし、平成 17 年 3 月 25 日からパロを日本で市販、平成 21 年以降、順次、欧米、アジア、オセアニア、中東の 30 箇国以上でも販売し、約 3,500 体 (日本が約 3 分の 2) が活用されている。
- ・ フランスにおいては、平成 26 年からパロの販売が開始され、同年 7 月以降、約 20 箇所の医療福祉施設で導入されており、AP-HP では、5 箇所の病院がパロを活用している。
- ・ 認知症セラピーやケアの他にも、キュリー研究所 (故マリー・キュリー博士等により設立され、数多くのノーベル賞受賞者を輩出) では、ガン患者に対するパロを用いた緩和ケアの臨床評価での良好な結果を踏まえて、パロが本格的に活用されている。
- ・ パロのセラピー効果に関して、世界各地で実施された厳密な「ランダム化比較試験 (RCT: Randomized Controlled Trials)」による良好な治験結果等を踏まえ、デンマークの約 80% の地方自治体による公的導入、ドイツの健康保険適用 (訪問ケア)、アメリカでの FDA による医療機器承認と連邦政府による公共調達 (退役軍人省病院向け等)、シンガポールの高齢者施設に対する最大全額補助等、パロが海外の社会制度に組込まれた。日本国内では、福祉用具として神奈川県、富山県、小松市等が半額補助、岡山市は総合特区で「介護保険」を適用。
- ・ 本年 7 月 1 日～3 日にフランス・リヨン市で開催される「Innorobo」において、日本ロボット工業会の支援を得て、産総研がパロの展示を行い、本受賞を紹介する。

- ・ フランスでは、平成 26 年から医療機器販売を行う Inno3Med 社が販売代理店として、パロの導入時研修やメンテナンス等のサービスを提供しており、今後、フランス全国の医療福祉施設にパロの導入・活用を働きかける。<http://www.phoque-paro.fr/>



図 1 AP-HP 「2015 Patient's Trophy」 賞



図 2 「2015 Patient's Trophy」 表彰式の際、
パロとふれあう公的扶助パリ病院機構長の Martin Hirsch 氏（左）

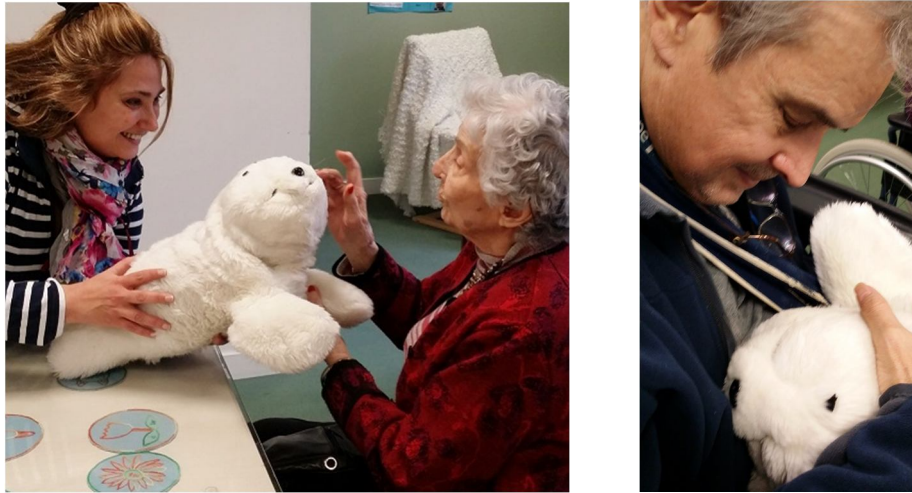


図 3 フランスでのパロの活用事例



図 4 アザラシ型ロボット・パロ（左からホワイト、ゴールド、サクラ、チャコール・グレー）

■本件問い合わせ先

（パロのビジネスに関して）

株式会社 知能システム

東京支店 担当 海老沼 豊 〒140-0013 東京都品川区南大井 3-6-20

TEL 03-5753-5345 FAX 0763-62-8600

E-mail: sales@intelligent-system.jp

URL: <http://intelligent-system.jp/>

（パロの国際動向、研究開発、セラピー効果等に関して）

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報研究部門

上級主任研究員 柴田 崇徳 〒305-8568 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第 2

E-mail : shibata-takanori@aist.go.jp

<http://paro.jp>

兼任：東京工業大学大学院 連携教授

兼任：マサチューセッツ工科大学高齢化研究所 客員フェロー